

令和2年度第2回一関市大原市民センター運営協議会 会議録

- 1 会議名 令和2年度第2回一関市大原市民センター運営協議会
- 2 開催日時 令和3年3月18日（木）午前10時から午前11時20分まで
- 3 開催場所 一関市大原市民センター2階 団体活動室
- 4 出席者
 - (1) 委員 熊谷幸次委員、金野幸富委員、千葉満委員、金野幸永委員、千葉あけみ委員
 - (2) 事務局 小野寺健所長、菅原千穂主任主事

5 議題

- (1) 令和2年度一関市大原市民センター事業の報告について
- (2) 令和3年度一関市大原市民センター運営方針及び事業計画（案）について

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者の数 なし

8 所長挨拶

年度末のお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から当所の運営にご理解、ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年度第2回目の運営協議会ですが、令和2年度事業報告、令和3年度運営方針及び事業計画（案）について説明させていただきます。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような活動ができず施設利用者数は例年と比べ大幅減ですが、新年度は早速ワクチン接種が始まりますので、引き続き感染対策を取り、工夫しながら本年度実施できなかった事業を実施していきたいと思っております。なお、「その他」のところで先導的な取組による施設保有の見直し方針(案)についても説明させていただきます。

本日は忌憚のないご意見を頂戴し、今後の運営に反映したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

9 議長選出

市民センター等運営協議会設置要領第7条に基づき構成員の中から互選し、千葉満委員が選出された。

10 審議内容

(1) 令和2年度一関市大原市民センター事業の報告について

事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限されたのが大きかった。

(2) 令和3年度一関市大原市民センター運営方針及び事業計画（案）について

事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 「室蓬カレッジ」歴史専門講座の受講者数はどうなったのか。

事務局 新型コロナウイルス感染症対策で、令和2年度は定員を40人から30人に減らし、33人の受講申込があった。1つの机に1人ずつ座らせると、大会議室ではこの人数が限界だった。移動研修では定員を30人から20人に減らした。新年度も同様に定員を少なくし、対策を取りながら実施したい。

委員 他の市民センターでは、「室蓬カレッジ」をどのように進めているのか。

事務局 どこでもコロナ対策を取り、定員を少なくして実施しているが、内容では差異がある。当市民センターでは大東地域の内容を中心に講演し、大原地区以外からの受講者も多く、中には大東地域以外からの受講者もいる。他の市民センターでは、講座内容をその地区に限定し、受講者も限定しているところもある。

委員 新年度に向けての調整会議は開催しているのか。

事務局 1月28日に開催し、内容を検討した。

委員 内容は決まったのか。

事務局 概ね内容が決まった講座もあるが、これから講師との調整に入る講座もある。

委員 大原だるま祭りはどうなるのか。

委員 コロナの影響があるので、その時になってみないと分からない。だるま祭りは同級会のような面もあるので、同級生に会えないと子ども達がかわいそうである。

事務局 十分にコロナ対策を取りながら、実施してもらえればよい。祭りがないと、大原の街が寂しくなっていく。

委員 コロナの終息に向けて、お祈りするしかない。

委員 コロナのワクチンが出ても、治療薬ではない。

委員 新年度もコロナ対策をしながら、事業を実施してもらいたい。

事務局 例年だと、だるま祭りは6月に実行委員会を設立し、内容を決定していく。

委員 今度の当番生は何人か。

事務局 全員で30人ちょっととなる。

委員 30人全員がだるま祭りに来るわけでもないのだから、来られる人だけでできないものか。

11 その他

(1) 先導的な取組による施設保有の見直し方針（案）について

事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 大原体育協会に対し、見直し方針の話があったのはいつか。

委員 パブリックコメントが始まってからである。

事務局 施設利用団体や関係団体にそれぞれ説明した。体育協会には直接三役や総合事務局員に説明し、団体としてパブリックコメントによる意見を頂戴した。パブリックコメントは市内全部で約80件と少ないが、大原市民センターへ11件出されており、説明の効果があった。

委員 大原体育館は大東支所の書庫も隣接し、書庫も一緒に廃止というわけにはいかないと思う。体育館は耐震補強工事も行っているの、存続の方向でお願いしたい。

事務局 そのことは、パブリックコメント受付終了後の3月3日に大東支所内の各課長等で検討した見直し方针对応案の会議でも話をした。また、体育館を廃止し代替施設を確保したとしても、周辺にスポーツ施設が集中していることから、それとは別にスポーツ用品を保管する倉庫は引き続き必要となる旨の話もしている。

委員 春日グラウンドの放送室もグラウンドと一体で、倉庫的役割も果たしているの、存続の方向でお願いしたい。

委員 気仙沼市では若者が集まるスポーツ施設があるが、一関市内にはそういう施設がない。大原のテニスコートは全天候型ではないので、東山みたいに全天候型であれば利用も増える。

事務局 千厩の清田にも全天候型のテニスコートがあり、利用のための競争が激しい。

委員 令和6年度に中学校が統合になるので、大原中学校の空き施設を活用できないかという話もある。また、スポーツ行事は参加者が少なくなっている。

委員 地域に集中した施設に集まれと言っても、高齢者は今後運転免許証の返納が出てくるので、なるべく近くに施設があった方がよい。

事務局 皆様の意見をいろいろな場面で反映させていきたい。

(2) 大原市民センターだより「砂鉄川」の印刷用紙について

事務局 今まで大原の色である紫色の用紙を購入し印刷していたが、令和3年3月発行分は用紙を替え、市庁舎内から排出の使用済み紙を原料としたオフィス製紙機で作成の再生紙で印刷したので、新年度以降も同様に再生紙で印刷したい。

12 担当課 一関市大原市民センター